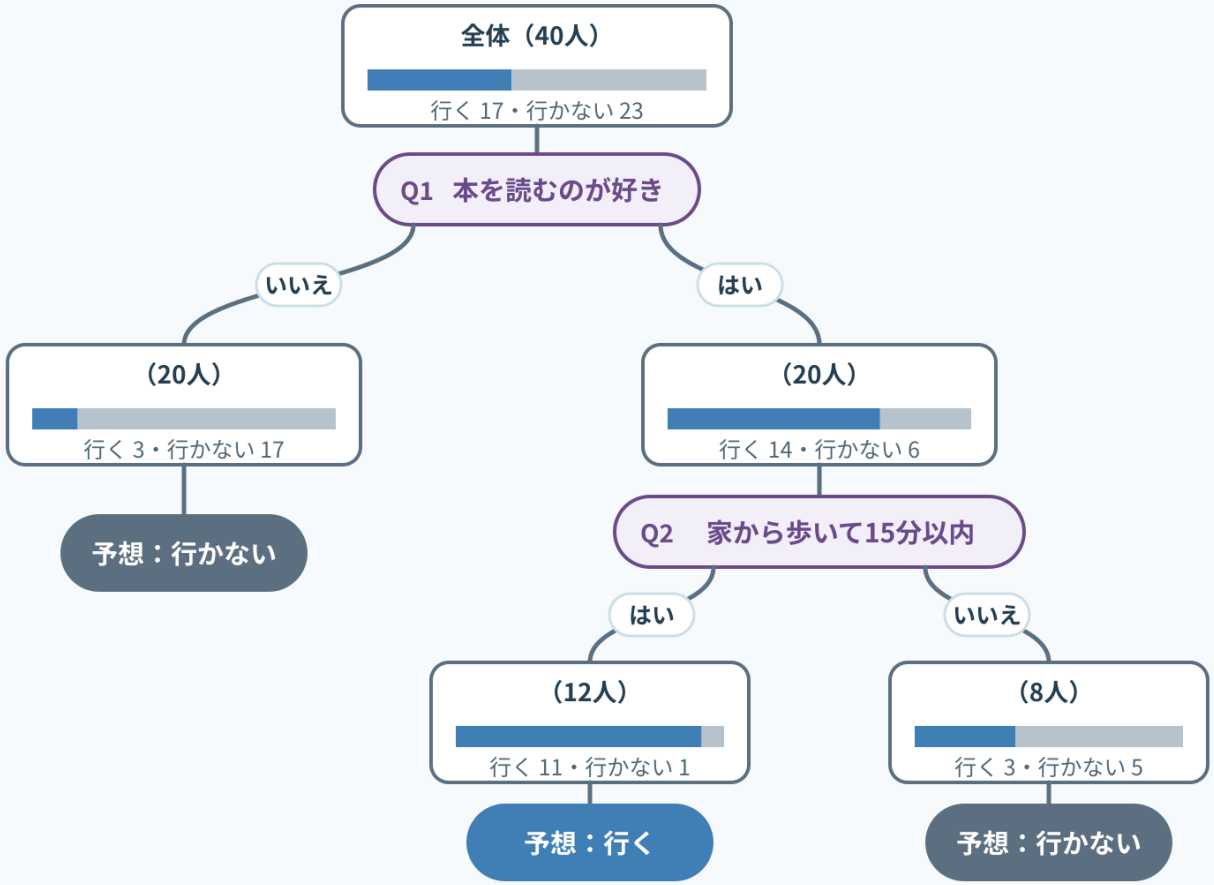
決定木（質問をくり返して分ける）

AIは、どのようにして質問の順番を決めているのだろう

例：架空のアンケート「休日に図書館へ行くか」（40人）



■ 行く　■ 行かない

葉（いちばん下）は、多い方を予想にする

※ アンケートと人数は架空。

AI 質問の選び方

データから、分け方がはっきり
する質問を選んで、先に使う

「本を読むのが好き」で分ける

はい	14・6	◎
いいえ	3・17	

「休日に部活がある」で分ける

はい	7・11	△
いいえ	10・12	

◎ よく分かれる　△ あまり分かれない

新しい人を予想する

本を読むのが好き・家から
歩いて10分 → 質問をたどって
「行く」と予想

人がつくる分け方とのちがい

検索表などは、質問の順番を人が決める。
決定木は、質問と順番をデータから選ぶ

注意：木を細かくしすぎると、学んだ
データに合わせすぎる → 枝を切りそろえる